

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 京都亀岡GPセンター 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.0
Q1 室内環境			0.31			2.5
1 音環境		1.0	0.15			1.0
1.1 室内騒音レベル		1.0	0.40			
1.2 遮音		1.0	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	0.60			
2 界壁遮音性能		1.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽衝撃源)						
4 界床遮音性能(重衝撃源)						
1.3 吸音		1.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能		3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		2.3	0.25			2.3
3.1 昼光利用		1.8	0.30			
1 昼光率		1.0	0.60			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30			
1 昼光制御		2.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		3.5	0.25			3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	規制対象外建築材料(F☆☆☆☆)のほぼ全面使用	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			2.9
1 機能性		2.4	0.40			2.4
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40			
1 広さ・収納性		1.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30			
1 広さ感・景観	事務所天井高2.7m以上かつ、窓の設置	4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
1.3 維持管理		2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30			2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.25			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.13			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.13			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.25			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.25			
2.4 信頼性		1.8	0.20			
1 空調・換気設備		1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		1.0	0.20			

3	対応性・更新性		3.6	0.30		-	3.6
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり	階高 4.2m以上	5.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比 0.1 未満	5.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.39		-	1.1
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40		-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30		-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.5
LR1	エネルギー		-	0.40		-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		-	-		-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.13		-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI/m=0.6未満	5.0	0.63		-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.25		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	-
	4.1 モニタリング		-	-		-	-
	4.2 運用管理体制		-	-		-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	2.9
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.9	0.60		-	2.9
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.1
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率76%	3.9	0.33		-	3.9
2	地域環境への配慮		2.4	0.33		-	2.4
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		-	-		-	
	1 騒音		-	-		-	
	2 振動		-	-		-	
	3 悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.67		-	
	1 風害の抑制		-	-		-	
	2 砂塵の抑制		-	-		-	
	3 日照障害の抑制		3.0	1.00		-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.33		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

京都亀岡GPセンター 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	2.0		-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0		-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0		1.0	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
ηAH	-	-	-

3.1.1 昼光率

昼光率 0.9%

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 3.3%

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース 5.0㎡/人 病床 0㎡/床 シングル 0㎡ ツイン 0㎡

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 30.0 VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.7 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 0.0%

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 25 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 20 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 4.2 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 3.0%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 4000 N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 0% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 0% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 0% 舗装面積率 0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.59 断熱等性能等級 対象外 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.56 住宅 - 太陽光 0kW 太陽熱等 0kW 蓄電池 0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 5.0%

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1430

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 122% 階床間隔指標Rw 2.93

地表面対策面積率 0.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 #DIV/0!

見付面積Sb 691㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Wa 50.96 m 基準高さHb 11.05 m

緑地 ㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡